



心 友

No 18

令和8年2月3日(火)発行
四万十市立中村西中学校
文責(校長) 小野川 憲

小学6年生の体験入学実施! ~在校生も教職員も皆さんを待っています!~

1月16日(金)午後、具同小学校・八束小学校・中筋小学校・東中筋小学校の6年生、そして、近隣の小学校からも数名の児童が参加してくれた中、体験入学を実施しました。在校生も教職員も6年生が学校に来るのを楽しみにしていました。

生徒会執行部から学校生活の説明、校舎案内、体験授業、そして体験入部と盛りだくさんの内容でしたが、参加した6年生は意欲的に各活動に参加していました。学校説明(主に生徒会活動目標について)を担当した新生徒会執行部も少し緊張しながらも、6年生に分かりやすく丁寧に説明していました。6年生も落ち着いていて、体験授業や体験部活動にも意欲的に取り組んでいました。しっかりしていて、前向きな姿勢に感心しました。一人でも多くの6年生に入学してもらい、中村西中学校でともに成長できることを楽しみにしています。



人権講演会(全校生徒対象)

「世界の不平等を知り、”子どもの権利”を自分ごととして捉える」

講師: 山田美緒さん(ソーシャルビジネス会社「KISEKI」)

1月22日、講師に、アフリカ・ルワンダでソーシャルビジネス会社「KISEKI」を設立し、地元の子供たちやシングルマザーを支援する活動に取り組まれている山田美緒さんをお招きし、「世界の不平等を知り”子どもの権利”を自分ごととして捉える」をテーマに講演をしていただきました。世界には「権利が守られにくい子ども」がいること、そして、その背景は何かを伝えていただき、日本の「当たり前」の制度が、世界では例外であることも知ることができました。また、子どもの権利が守られない要因に、個人の努力ではどうにもならない「構造」があることも分かりました。そして、その不平等を改善するために、ご自身の経験や強い思いもふくめ伝えていただき、身近なところ、身近な世界に「自分がつくることができる変化」があることを学ぶことができました。

ルワンダの子どもの現実や、子どもの権利が守られていない具体的な姿を見せていただき、自分ごととして捉えるだけでなく、自分たちにできる行動があることも考えることができました。



【生徒の感想を紹介します。】

○人権の講演会で、「今日あなたがめんどくさいと思った時間は、泣きながら手放した時間」ということを聞いて、授業めんどくさいなーとか嫌だなーって思ったけど、世界には、その時間を受けたい。受けたかった。けど、受けることができない人が何千人もいた。その受けることができない人たちが受けたいと思っている時間だと知ってグッと来ました。

○ 私は、山田さんの講演を聞いて生まれてくる状況や場所によって最初のスタートラインから違ってくるのだなと知ったし、子どもたちの両親が逃げ出したりする理由もそこにあると思うから、自分の子供を捨てるということは悪いことだけれど、完全に悪いとは言い切れないなと思いました。また、そもそもスタートラインにも立てない状況の子たちもたくさんいるから、有利な状況からスタートした人たちがサポートしていく社会になればいいという考え方はすごくカッコよくて素敵だなと思いました。私も山田さんのように思い立ったらすぐに行動に移せるような人になりたいなと思いました。

○ 人権について話をきいて今自分たちが住んでいる日本は当たり前にご飯が食べられて学校もいける国だけど私達がしている当たり前はルワンダの国の子供達にとって当たり前ではないということがわかりました。だから今当たり前でもいつか当たり前ではなくなる可能性だってあるからお金や食に感謝したり当たり前を大切にしていきたいです。困っている人や自分が疑問におもったことは山田さんのように自分から行動していくことが人の命を救う一歩になると思いました。もしそこで行動しなかったらまだ小さい命が救えなくなり今後の未来が見えなくなると思うから自分が思ったことは自分で動いていきたいです。多様性がある世界だから色々な人を尊重して誰もがみんなのことを受け入れる心が広い人が増えるといいなと思いました。

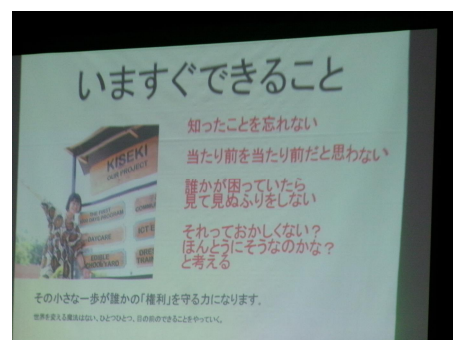
『強く生まれたものは弱きものを助けるために在る』

山田さんが、講演の中で話をしてくれた言葉ですが、とても心に残ったので、少し調べてみました。これは、「鬼滅の刃」煉獄杏寿郎が幼い頃に、余命幾ばくも無い母親が、杏寿郎を抱き寄せながら、語り掛けた言葉のようです。

なぜ自分が人よりも強く生まれたのか、わかりますか。
弱き人を助けるためです。
生まれついて、人よりも多くの才に恵まれた者は、
その力を、世のため人のために、使わねばなりません。
天から賜りし力で人を傷つけること、私腹を肥やすことは許されません。
弱き人を助けることは、強く生まれた者の責務です。
責任をもって果たさなければならない使命なのです。
決して、忘れることのなきように。
母はもう長くは生きられません。
強く優しい子の母になれて、幸せでした。あとは頼みます。

ここでいう「強さ」は、腕力や地位だけでなく、「体が丈夫なこと」「勉強を頑張れること」「仲間がいること」「声を出せる勇気があること」「安全な場所で生きていること」こうした、「自分では当たり前だと思っている恵まれた環境」もすべて強さです。

「自分が持っている強さを、自分だけのために使うのではなく、苦しんでいる人、困っている人のために使いましょう。」



人権教育参観日(参観授業)への参加ありがとうございました！

1月23日(金)は、今年度最後の参観日(人権教育参観日)でした。お忙しい中、授業参観に来ていただいた皆様、本当にありがとうございました。

5時間目にはそれぞれの学級で人権学習を行い、その後、1年生保護者の皆さまには、「修学旅行説明会」にも参加いただきました。

本校の人権学習は、3学期に集中して授業を行い、人権の学習を深めています。今回は、1年生は「人権とは?」、2年生は「インターネットに人権侵害」、3年生は「災害と人権(避難所運営ゲームHUG)」というテーマで授業を行いました。人権教育は、日々の教育活動の中でも行っていますが、教材等を活用して理解を深めていく授業はこの時期のみとなります。ぜひご家庭でも人権について、子どもさんと一緒に考えていただければと思います。



【表彰関係】

【女子バレーボール部】

令和7年度高知県中学校バレーボール冬季選手権大会 第3位

【女子バスケットボール部】

2025年度321杯 第1位

○女子最優秀選手 菊田莉央

○女子優秀選手 中平怜菜 都築明咲実

第26回福島カップバスケットボール交流大会 第1位



【吹奏楽部】

第49回全日本アンサンブルコンテスト高知県大会

○金賞代表 木管三重奏(中野寧々花・矢野正宗・利岡希) 四国大会出場!

○銅賞 サクソフォーン三重奏(上岡夢奏・内藤咲・荒谷日陽)

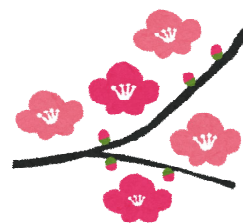
○銅賞 金管四重奏(白井ましろ・川添妃茉・西尾菜・山本姫衣佳)

全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト第28回高知大会

○優秀賞 中野寧々花 四国大会出場!

令和7年度「人権作文コンテスト高知県大会」 奨励賞 山田耕士郎

2月の主な行事日程のお知らせ



- 1 (日) 四国西南新人駅伝大会
- 2 (月) 小中担当者会
- 3 (火) A日程志願先変更期間(～5日)
- 4 (水) **平常校時 ※部活動あり**
- 5 (木) **校内研修**(國學院大學 杉田洋 教授) **※部活動なし** 放チャレ
- 6 (金) SC来校
- 7 (土) デジタル作品コンクール(かるぽーと) 県サッカー冬季大会
黒潮町杯ソフトテニス大会 バレー宿毛大会
- 8 (日) 県サッカー冬季大会 バレー宿毛大会
- 9 (月) B日程願書等配布(～13日)
- 10 (火) A日程調査書等提出期間(～13日)
- 12 (木) 心友の会事務局会
- 16 (月) **3年生期末テスト(給食を食べて下校)**
- 17 (火) **3年生期末テスト(午後は通常授業)**
- 18 (水) 職員会、学年会、放チャレ
- 19 (木) 読み聞かせ、心友の会
- 20 (金) SC来校
- 22 (日) 四万十子どもプロジェクト(14:00～ 市役所3F)
- 24 (火) **1・2年生期末テスト期間開始 ※部活動停止** 専門部会
- 25 (水) つどい、校内研、放チャレ
- 28 (土) 菜の花祭り(1年生参加) 菜の花コンサート(吹奏楽部)

※1年生は授業日になります。お弁当の用意をお願いします。

1年生は3月2日(月)が振替休日となります。

- 3月3日(火) 公立高校 A 日程検査日(筆記) 期末テスト 1 日目
※1・2年生は給食を食べて放課
- 3月4日(水) 公立高校 A 日程検査日(面接) 期末テスト 2 日目
※1・2年生は平常校時

1/27(火)から3年生の公立高校 A 日程の出願が始まりました。目標を持って、そして、しっかり計画を立てて自分の進路に向けて頑張ってください。

